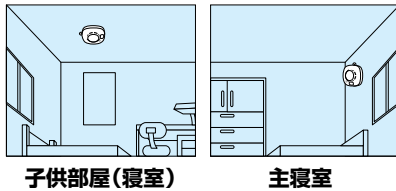


住宅用火災警報器の設置場所

市町村条例(各自自治体の条例)により設置場所(設置基準)が異なる場合がありますので、所轄の消防署にご確認ください。

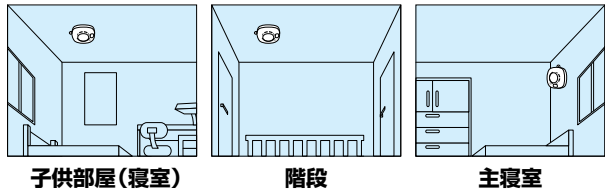
1 寝室

就寝に使用する部屋に設置します。(普段就寝している部屋のこと、来客が就寝するような部屋は除きます。)



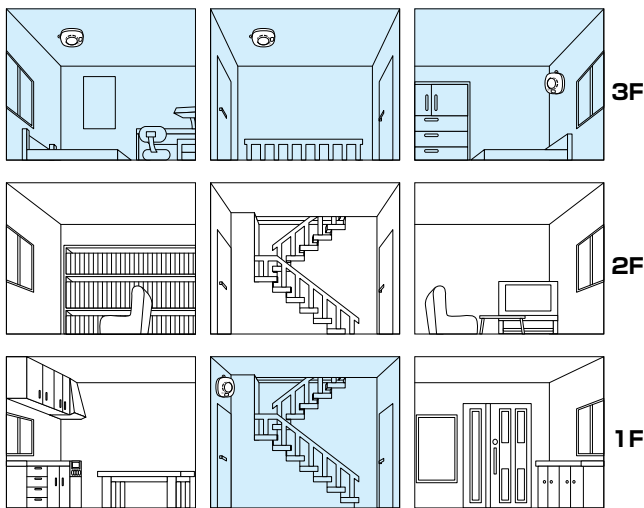
2 階段

就寝に使用する部屋がある階の階段の踊り場の天井又は壁に設置します。(ただし、避難階(1階など容易に避難できる階)は除きます。)



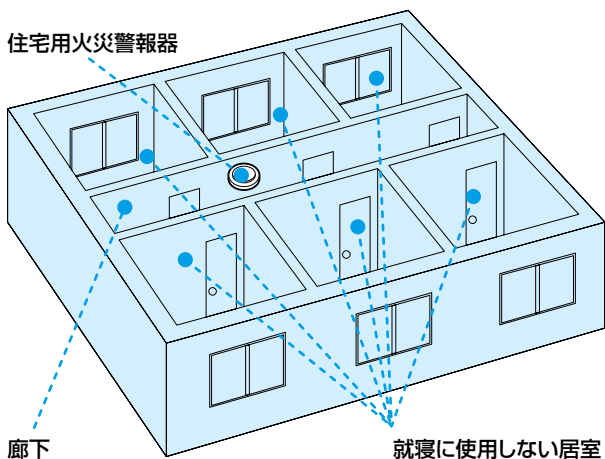
3 三階建て以上

住宅用火災警報器を設置しない階で就寝に使用しない居室が2階以上連続する場合、住宅用火災警報器を取り付けた階から2階離れた居室のある階の階段に設置します。



1 2 3 以外の設置場所

住宅用火災警報器を設置する必要のない階でも、**7m²(四畳半)以上の居室が5以上ある階**には、廊下に住宅用火災警報器の設置が必要です。



テレビドアホンとの連動でさらに安心。

設置義務のない部屋でもテレビドアホンが設置してあれば通知音が確認※できます。

※住宅用火災警報器が発報することでテレビドアホンも通知音を鳴動します。

適合▶ テレビドアホン
WJ-4MED-T、JH-2MAP-T、
JR-1ME-T、JH-1MEK-T

